

令和元年6月21日
【国土交通省】

【概要書】

平成30年度 観光の状況
令和元年度 観光施策

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和元年版 観光白書について

○観光白書は観光立国推進基本法第8条に基づき毎年国会に提出。以下の四部で構成。

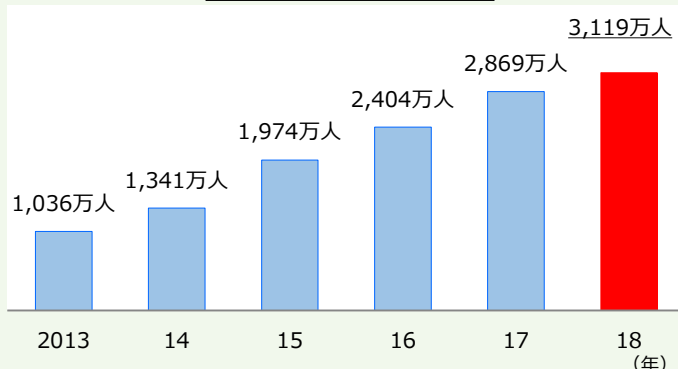
- 第Ⅰ部 平成30年観光の動向** 第1章 世界の観光の動向 第2章 日本の観光の動向
- 第Ⅱ部 すそ野が広がる観光の経済効果** 第1章 訪日外国人旅行者の増加が我が国経済にもたらす影響 第2章 訪日外国人旅行者の増加が観光地に与える影響 第3章 自然災害が旅行に与える影響
- 第Ⅲ部 平成30年度に講じた施策／第Ⅳ部 令和元年度に講じようとする施策** 第1章 観光資源の魅力を極め、「地方創生」の礎に 第2章 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に 第3章 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

平成30年 観光の動向 (Ⅰ部)

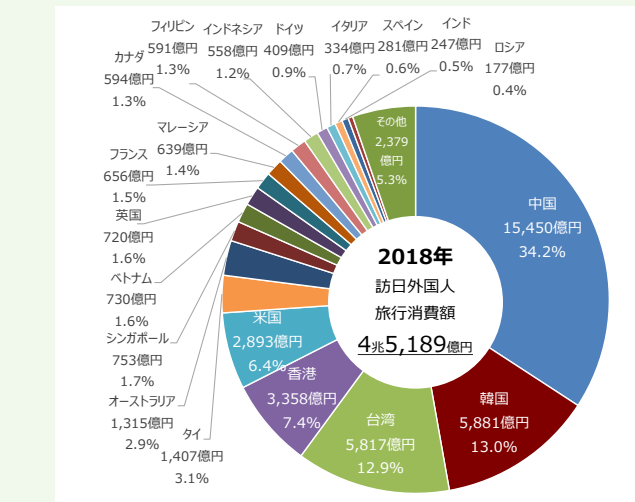
(本文P.7~10)

- 2018年(平成30年)の訪日外国人旅行者数は**3,119万人(前年比8.7%増)**となり、過去最高を更新
- 2018年(平成30年)の訪日外国人旅行消費額は**4兆5,189億円**となり、**中国、韓国、台湾、香港、米国**の上位5箇国・地域で総額の73.9%を占めた。

訪日外国人旅行者数の推移



国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



資料：日本政府観光局、観光庁「訪日外国人消費動向調査」に基づき観光庁作成

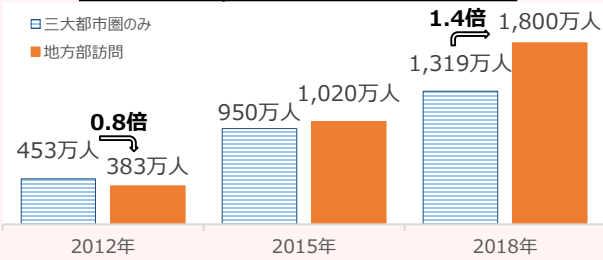
すそ野が広がる観光の経済効果 (Ⅱ部)

地方を訪問する外国人旅行者の増加とコト消費の動向

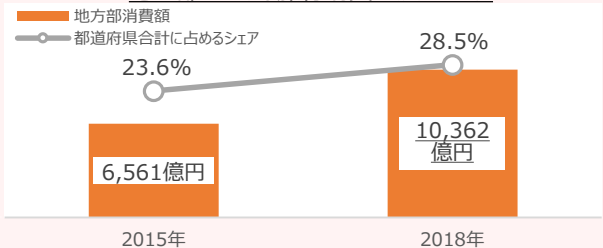
(本文P.41~46)

- 近年、**地方を訪れる外国人旅行者が急速に増加**。
- **地方での旅行消費は大幅に増加し、シェアも拡大**。
- 「**コト消費**」を行う訪日客は、**1人当たり旅行支出が**高く、地方での消費拡大に貢献。

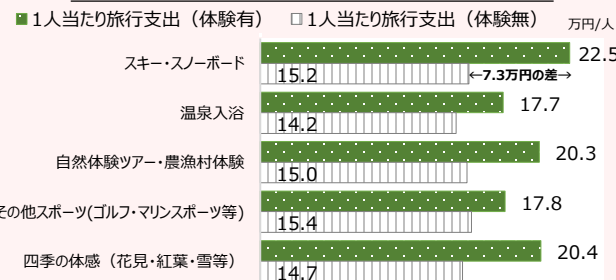
訪問先(都市/地方)別訪日外客数の推移



地方部における旅行消費額及びシェア



主な「コト消費」の体験有無別1人当たり旅行支出



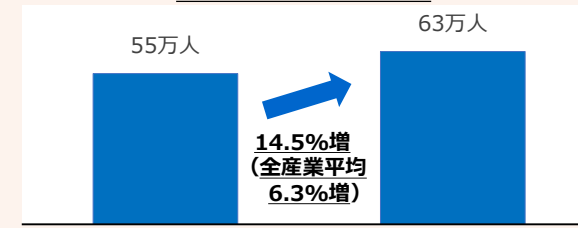
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局「訪日外客数」に基づき観光庁作成
注：三大都市圏とは、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫の8都府県を、地方部とは三大都市圏以外の道県をいう。

観光関連産業における雇用、賃金、生産性の動向

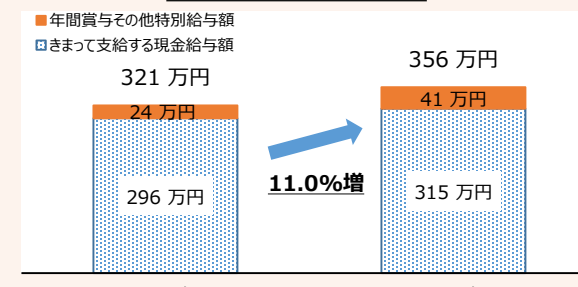
(本文P.62~65)

- 宿泊業では、**雇用、賃金、生産性のいずれも高い伸び**を示している。

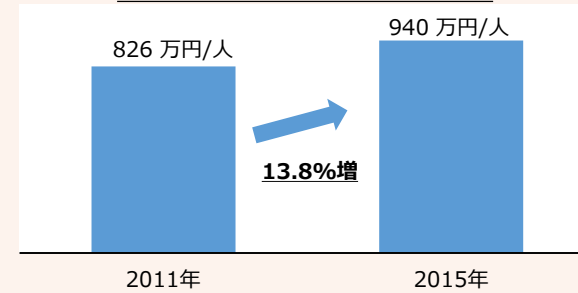
宿泊業の就業者数の変化



宿泊業の1人当たり給与額



宿泊業の従業者1人当たりの売上金額



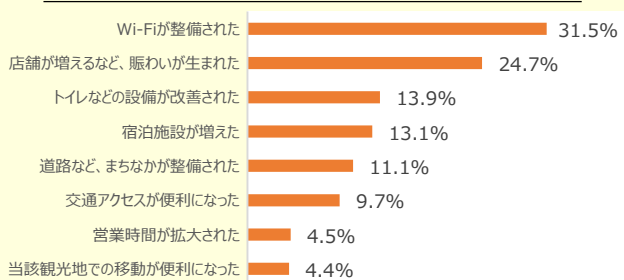
資料：総務省「労働力調査」、厚生労働省「賃金構造基本統計」、総務省・経済産業省「経済センサス」より観光庁作成

外国人旅行者の増加が国内の観光地に与える影響

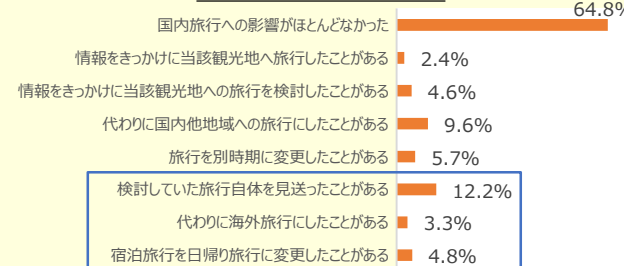
(本文P.75~76)

- 外国人旅行者の増加は**観光地の環境整備**につながっている一方、**一部では国内旅行への影響**もみられる。

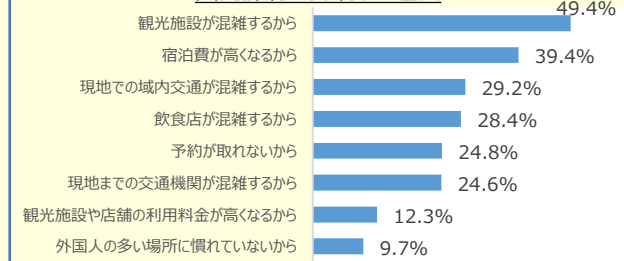
外国人旅行者の増加が観光地にもたらしたと思う好影響



観光地で外国人旅行者が増加したという情報が旅行判断にどう影響したか



国内旅行を抑制した理由



資料：国内アンケート調査に基づき観光庁作成

地域における取組の事例 (コラム)

サイクルツーリズム (瀬戸内しまなみ海道)

(本文P.48)

人口減少や地域経済の停滞といった課題をサイクリングによる交流人口の増加によって解決するための取組が沿線自治体において行われている。

具体的には、サイクリストの視点に合わせた受入環境の整備、国内外への効果的なプロモーション及び国際サイクリング大会の開催等であり、こうした取組によって「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」において大賞を受賞するなど、「サイクリストの聖地」としてのブランドが確立、サイクリングを切り口とした地域の活性化や滞在型観光の促進が図られている。



瀬戸内しまなみ海道

観光快適度の見える化による分散 (京都府京都市)

(本文P.79)

昨年11月10日から12月17日の間、ウェブサイト「嵐山快適観光ナビ」(日・英の2言語)を開発し、Wi-Fi アクセスタータを元に、**日時・エリアにおける観光快適度(快適に観光できる割合)を予測し、観光快適度の「見える化」(右図)を行った。**

訪問日と訪問したいエリアを選択すれば、時間帯ごとの観光快適度を確認することができる。エリアは奥嵯峨、大覚寺、渡月橋など8つに分かれ、嵐山全体の観光快適度も見ることができる。



特定のエリアの観光快適度を時間帯別に表示
嵐山全体の観光快適度をエリア別・時間帯別に表示
※比較的快適に観光できる場合は青色、比較的混雑が予想される場合は赤色で表示

公共交通機関における地域住民優先入場の試行 (神奈川県鎌倉市)

(本文P.80)

2017年から江ノ電が最も混雑するゴールデンウィーク期間中に、沿線住民等の移動円滑化を図るため、沿線住民等が鎌倉駅構外の行列に並ばずに駅構内へ入場できるように社会実験を行っている。

具体的には、**沿線住民は鎌倉市が事前に発行した「江ノ電沿線住民等証明書」を提示することで、駅構内へ優先的に入場し、構内の行列の最後尾に並ぶことができる**というもの。

最も混雑した時間帯において、沿線住民等が優先入場することにより、昨年は最大で約20分、待ち時間を短縮することができた。アンケートによると、沿線住民から好評であると共に多くの観光客の理解も得られた。



社会実験の様子